



高松幸雄 議員

自主防災会機能の充実を

**問** 本市の自主防災会はどれだけ存在するか。訓練を実施した会の数は。

**総務部長** 179の自主防災会が存在し、平成26年度は143の自主防災会が防災訓練を実施した。

**問** 残る36の自主防災会が訓練を実施していない理由は。

**総務部長** 把握していない。今後は理由を把握して訓練の実施を働きかけていきたい。

**問** 訓練の内容と参加世帯、年齢層、性別は。

**総務部長** 訓練内容は初期消火、放水、避難、ロープ結索、心肺蘇生、応急措置、煙体験など。参加世帯は6千161世帯、年齢層と性別は把握していない。

**問** 自主防災会役員の任期は。

**総務部長** 単年や複数年など地域によって違い

がある。総代が副総代が会長を兼任している自主防災会は24ある。できれば自主防災会会長は専任で複数年の任期が最善であると考えているが、地域事情を考えると難しい。

**問** 自主防災会役員の指導会は実施しているか。

**総務部長** 市では特に行っていない。地域で要望があれば、自主防災活動についての説明をしている。

**問** 防災リーダーの育成は。

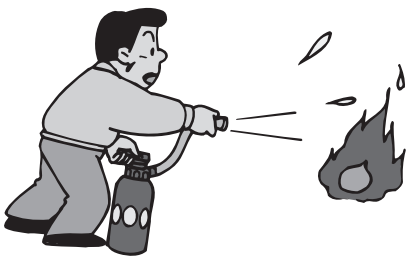
**総務部長** 防災リーダー養成講座を海部の市町村が合同で、毎年実施している。市は広報やホームページで受講募集をしている。今後は自主防災会宛に受講案内を郵送し、周知を図っていく。

**問** 学区ごとの防災訓練は。

**総務部長** 昨年は、立田地区で自主防災会の合同訓練が実施され成果があった。今後は校区ごとの訓練も推進していく。

その他の質問

- ・プレミアム商品券について



河合克平 議員

少子化に対し子育て支援拡大を求め

**問** 合計特殊出生率は、1.25と県下では、2番目に悪い。数値を上げるため、その目標を定めているのか。

**企画部長** 目標を定めていない。地方創生総合戦略を進める中、人口ビジョンを策定し、目標の検討を行っていく。

**問** 前市政は、子ども医療費助成について県内で、世間並みだったが、日永市政になって県下で最低になった。地域創生先行型交付金を利用して、市民の求める、子ども医療費助成の中学校卒業までの拡大を行い、切れ目ない支援が必要ではないか。

**市民生活部長** 所得制限や、自己負担が生じている自治体もあるので、遅れていると思っていない。子ども医療費助成の拡大については未定である。結婚しない人が多いなど、様々な要因によるものと考え、子ども医療費助成の拡大の影響は少ない。

**問** 庁舎の増築をしたからできないのかと市民が